

1. 開催日時：2026 年 7 月 1 日（水）13 時 30 分～16 時 00 分

2. 開催場所：おかやま西川原プラザ 大会議室 A

3. 出席者：現地参加 26 名、オンライン参加 25 名、

講師：5 名、事務局：7 名 計 63 名

4. 講演内容

取組事例紹介

- ・ 浜松市 産業部 カーボンニュートラル推進課

補助金・支援施策紹介

- ・ 中国経済産業局 資源エネルギー環境課
- ・ 環境省 中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室
- ・ 岡山県 環境文化部 脱炭素社会推進課

講演

- ・ 『中小企業を取り巻く脱炭素の動向と今後の展望』

岡山大学 学術研究院社会文化科学領域 天王寺谷 達将 教授
意見交換会（現地開催のみ）

5. 配布資料

資料 1 事務局資料

資料 2 浜松市における企業向け脱炭素施策について

資料 3 令和 8 年度経済産業省カーボンニュートラルに向けた支援策

資料 4 令和 8 年度の環境省の補助事業

資料 5 カーボンニュートラルに向けた岡山県の取組

資料 6 中小企業を取り巻く脱炭素の動向と今後の展望

6. 議題

1) 本日第 1 回研究会の概要とテーマについて

研究会の概要と第 1 回のテーマについて事務局より説明。

2) 取組事例紹介について

講演後、下記の通り質疑応答を行った。

参加者：連携事例について、バイオ炭製造技術と炭素固定、J-クレジットとの関わりを教えてください。

浜松市：現時点では該当する方法論が認められていないため、情報収集を進めている段階である。

参加者：資料 13 ページの設備導入補助事業について、事業期間が短いように感じるが、資材不足や工事の遅れによる影響は生じていないか。

浜松市：本事業は環境省の重点対策加速化事業を活用した 5 年間事業であり、今年度は 3 年目に当たる。事業者の皆様には実施に向けて早い段階から準備を進めていただいております。交付申請期限を 11 月 30 日、設置については翌年 1～2 月頃までとしていることから、現時点で特段の問題は生じていない。

3) 補助金・支援施策紹介について

講演後、下記の通り質疑応答を行った。

参加者：経済産業省のカーボンニュートラル投資促進税制とストレージパリティについて、併用することは可能か。

経産局：可能である。

4) 中小企業を取り巻く脱炭素の動向と今後の展望について

講演後、下記の通り質疑応答を行った。

参加者：資料 15 ページ CFP 算定事例で天板と下駄箱の電力使用量の違いについて、工程ごとの電力データはどのように取得されたか。

天王寺谷：今回の事例では、工程ごとの電力データの収集が困難であったため、個数で単純に割るなど、粗い計算を行っている。本来は工作機械ごとの消費電力を把握した上で算定すべきであるが、データ収集の負荷が大きく、全体像は把握できるものの、具体的な改善策の導出には至らない結果となった。

参加者：自社の商品について、製造段階では排出量がプラスとなるが、その商品が排出量をマイナス（吸収）するものである場合、その点も算定されるのか。

天王寺谷：算定される。商品の使用段階も算定対象となるため、どのように使用されるかを想定した上で算定していくことになる。ただし、これはあくまで想定に基づくものであるため、どのような想定のもとで算定したのかについても、あわせて開示する必要がある。

参加者：CFP を算定したい場合、どこに相談すればよいか。

天王寺谷：支援先としては、CFP を算定しているコンサルタントや大学への相談が考えられるが、明確な相談窓口が少ないのが現状である。

5) 意見交換会（現地参加のみ）

事業者が抱える脱炭素化に向けた課題について意見交換会を実施した。

以上